

「だれもが誇れる学校～自信と信頼に満ちた学校～」

令和7年12月1日（月）



杉中だより

令和7年度
No.9



ブログ携帯サイト

「じりつ（自立・自律）・共生・チャレンジ」

枚方市立杉中学校 TEL: 050-7102-9240 FAX: 072-858-8985

☆師走 ～今年も残り1か月～

いよいよ今年最後の月となりました。12月は和名で「師走（しわす）」といい、その由来は諸説ありますが、その中の一つ「為果つ（しはつ）」は「一年の最後になし終える」という意味です。年末を控え、何かと忙しい時期ですが、この一年をゆっくり振り返り、し忘れていることや予定していたことができていないことをやり切って、今年を終えたいものです。

まだ1ヶ月ありますが、保護者の皆様、地域の皆様、今年一年大変お世話になりました。ありがとうございます。教職員一同、お礼を申し上げるとともに、今後も杉中生の「学び」と「育ち」のため、全力で取り組んでまいりますので、来年もよろしくお願い申し上げます。どうぞ、よいお年をお迎えください。

「誰か」のことじゃない。



☆人権週間（12月4日～10日）

昭和23年12月10日、国際連合において、全ての人民と全ての国とが達成すべき共通の基準として、「世界人権宣言」が採択されました。世界人権宣言は、基本的人権尊重の原則を定めたものであり、採択日である12月10日は、「人権デー（Human Rights Day）」と定められています。

日本でも、人権デーを最終日とする1週間（12月4日から12月10日）を「人権週間」と定め、昭和24年から毎年、各関係機関や各種団体が協力して、全国的に人権啓発活動を特に強化して行っています。

学校でも年間を通して、いじめ問題や、インターネット上の人権侵害、障がいのある人や外国人、性的マイノリティ等に対する偏見や差別、部落差別（同和問題）など、多様な人権問題について学習する機会をもうけています。何よりも「自分の命も仲間の命も大切にすること」を一番身近な人権課題であると考えた上で、私たち一人ひとりが様々な人権問題を、自分以外の「誰か」のことではなく、自分のこととして捉え、互いの人権を尊重し合うことの大切さについて、認識を深めることが不可欠だと言えます。（参考：法務省HP）

この3年間で一番大切にしてほしいことを、お話ししたいと思います。それは、「命を大切にすること」입니다。言い換えれば、「自分という人間を大切にしてください。」ということです。

人にはそれぞれ、得意なこと・苦手なこと・自信のあること・ないことがあります。毎日の生活のなかで、楽しいこともあれば、苦しいこと、しんどいこともあります。しかし、それらすべてをひっくるめて、「あなた」という人間はここに生きているのです。一人ひとりが、本当にかけがえのない存在なのです。今、ここにいるということ、そのこと自体が、何よりもすばらしく、大切なことなのです。そしてそれは、あなたの周りの人にとっても同じことなのです。

自分に自信をもってください。自分のことを好きになってください。そして、自分と人の命を大切にしてください。自分も含めて、人の命や個性や気持ちを、大切にできる人になってください。

これからの3年間、かけがえのない、自分と人の命を大切に、人としての想像力と感性を磨き、そして、仲間と共に学び合い、成長していきましょう。

（令和7年度入学式「学校長の式辞」より抜粋）

この人権週間に機に、今一度「自分の命を大切にすること・他の人の命を大切にすること」について、みんなで考えてみませんか。



☆お知らせ：冬季休業期間の学校閉庁日

12月29日（月）～1月3日（土）の期間は機械警備になります。学校施設管理人も勤務せず、対応できません。生徒の生命の危機や事故などの緊急事案は、警察などの関係機関にまずご相談ください。